

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているので、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021 年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げに暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://www.unicef.org/press-releases/childrens-wellbeing-worlds-wealthiest-countries-took-sharp-turn-worse-wake-covid-19>
<https://www.unicef.org/innocenti/media/11111/file/UNICEF-Innocenti-Report-Card-19-Child-Wellbeing-Unpredictable-World-2025.pdf>
https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250514_08/
https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20250514_15/
https://www.unicef.org/library/pdf/labo_rc11ja_en.pdf
<https://www.unicef.org/press-releases/worlds-richest-countries-grappling-childrens-reading-and-math-skills-mental-well>
<https://mainichi.jp/english/articles/20250514/p2g/00m/0li/042000c>
<https://sp.m.jiji.com/english/show/40065>
<https://www.cbc.ca/news/health/unicef-children-canada-1.7534521>
<https://koreajoongangdaily.joins.com/news/2025-05-14/national/socialAffairs/Korean-kids-top-academics-near-bottom-in-physical-mental-health-Unicef/2307358>

1 ページ

★単語 mental 精神の physical 身体の ※しっかり押さえましょう。

Q1 子どもの幸福度に関する報告書 ※happiness は一瞬(その時)、well-being は一生持続する幸せを言います。<https://marchons-ensemble.com/blog/detail/20210213000044/>

Q2 Mental health, physical health, and skills

Q3 20 位から 14 位に上がった

Q4 Because Japanese children are usually healthy and have low rates of obesity and death./

自分の言葉で答えるなら: Japan has good medical care, so children's death rate is low.などでも可

Q5 痩せすぎの子が多い／Many children in Japan are too thin. ★この理由については Q13 へ

Q6 日本の子供たちが、学校や社会生活で（他の国の子供たちに比べて）学力的な面で良くがんばっていることを示している／It shows that Japanese students are doing better at school and in social life.

Q7 日本は心の健康のランキングが低く、10 代の自殺率は世界で 4 番目に高い／Japan has a low mental health ranking and the 4th highest suicide rate among teenagers.

★子供の自殺率について

2025 年 5 月にユニセフ（UNICEF）が発表した「Innocenti Report Card 19」によると、子供の自殺率は 1 位 New Zealand, 2 位 韓国, 3 位 フィンランド, 4 位 日本でした。

https://www.anews.com.tr/world/2025/05/15/new-zealand-reports-highest-child-suicide-rate-among-wealthy-countries-unicef?utm_source=chatgpt.com

Q8 Children face problems like COVID-19, war, and climate change.

Q9 They need more support from family, school, and community.

Q10 the Netherlands, Denmark, and France ※オランダは島国なので、国名の語尾に複数形の s がついています

Q11 Chile

Q12 人生満足度などのデータが不足しているから／Because some data like life satisfaction were missing.

2 ページ

Q13 自由記述例

★Many children think, “Being thin is beautiful,” so they try to be skinny and don’t eat too much.

★Some parents think, “Being fat is bad,” so they give less food to their children.

★Some children don’t eat breakfast (they skip breakfast) . They don’t get enough energy for the day.

Q14 自由回答例

★Yes. Some children see bad things on social media. It can make them feel worried or sad.

★No. Children can choose what to see. If they use it well, it can be fun and safe.

Q15 自由回答例

① I think Japanese junior high school students have a lot of stress from exams, homework, and club activities.

② To take care of my mental health, I try to sleep well, eat healthy food, and talk with my friends.
How about you?

※時間があれば、アメリカ人の Sam が言う“Many children are overweight”について、なぜなのか話しましょう。

3 ページ

1 1) as important as 2) as difficult as 3) as smart as 4) as helpful(useful) as

2 1) healthier than 2) better than 3) happier than 4) higher than

3 1) the healthiest 2) the happiest 3) the 4th highest

4) the lowest 5) the richest

指導の手引き

今年、本屋大賞を受賞した小説『カフネ』（阿部暁子著／講談社）を読みました。

<https://amzn.asia/d/cOape7q>

その中に、シングルマザーの家庭で育つ小学 5 年生の女の子が、感情を爆発させる印象的な場面があります。

「将来に希望が持てない。地球が温暖化して、将来は生きていられないかもしれないし！」

この一言に、私はハッとさせられました。

日本は戦争も飢えもない豊かな国ですが、それでも子どもたちは目に見えない将来に不安を抱えて生きている——。彼女の言葉は、そんな今の小学生たちの“心の声”を代弁しているのではないかと感じました。

今回のニュース教材を用いて、高校 1・2 年生に授業をしたところ、次のような反応が返ってきました。

「日本のランキングが 14 位？ まあ、妥当じゃないですか？」

「私たちの国は豊かで、ご飯も食べられて学校にも行ける。それなのに心の健康が 32 位って、おかしいと思う。たぶん、皆が自己肯定感を持てていないだけじゃないですか？」

「日本には“私、幸せです”って言うだけで、周りから叩かれるような空気がある。

だから本当は幸せでも、そう言えないのかもしれない」

…これらの意見は、私自身が密かに感じていたことと重なり、深く頷きながら聞きました。

ちなみに、子どもの自殺率において、日本は世界で 4 番目に高いとされています。

非常に痛ましい事実ですが、日本以上に自殺率が高い国はどこかと調べてみると、ニュージーランド、韓国、フィンランドでした。

韓国については、出生率の低さ(0.76)とあわせて、自殺率の高さが社会問題になっていることを、最近読んだ書籍『韓国消滅』（鈴置高史）でも知りました。 <https://amzn.asia/d/bGYV2kt>

けれども私がさらに驚いたのは、「世界一幸せな国」として知られるフィンランドにも自殺率の高さがあるという点です。フィンランドでは、太陽が一日中昇らない「極夜 (polar night)」の季節になると、心の健康を保つのが難しくなり、自殺者が増えることがあるそうです。

日本だけでなく、さまざまな国が“心の健康”に向き合っています。

だからこそ、私たちも視野を広げ、人類全体の幸福について考えてみるのが、これからの教育に必要なのではないかと思います。

ぜひ、生徒さんたちに、問いかけてみてください。

「日本は身体の健康 1 位、精神の健康 32 位、スキル(学力) 12 位、全体で 14 位。この結果を、どう思いますか？」

未来を作っていく子どもたちの心の奥にある声を引き出す、希望ある対話の時間になりますように。